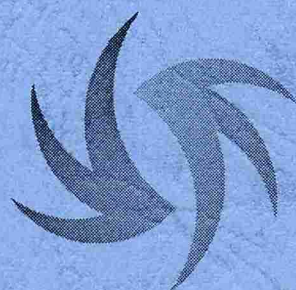


日本広報学会
第17回研究発表大会予稿集

《統一論題》

東日本大震災における広報課題
～ “想定外” のクライシスマネジメント ～



日本広報学会

Japan Society for Corporate Communication Studies

2011年

日本広報学会
第17回研究発表大会予稿集

《統一論題》

東日本大震災における広報課題
～ “想定外” のクライシスマネジメント ～

2011年10月22日（土）～23日（日）

[会場]

東京経済大学
(国分寺キャンパス)

日本広報学会

Japan Society for Corporate Communication Studies

統一論題

東日本大震災における広報課題 ～“想定外”のクライシスマネジメント～

〈趣旨〉

危機管理はコーポレート・コミュニケーション戦略の重要な課題であり、ほぼ全ての企業で万全のリスク管理マニュアルが完備されているにもかかわらず、今回の震災では、大地震・大津波・原発問題に加えて、停電・燃料不足・放射線汚染・風評被害など、事前の想定を超えた事態が多発し、緊急時の情報発信の方法やリスクマネジメントの想定範囲など、多くの広報課題が問われました。

そこで本大会では、今回の震災に際し、企業や行政はステークホルダー（消費者・従業員・地域住民・行政機関・株主等）に対してどのような情報発信をしたのか、また組織内のコミュニケーションは危機管理マニュアル通りに機能したのか、想定を超えた震災被害に対してどう対応をしたのか、マスメディアとの連絡体制や Web での情報発信、福島原発の影響など、多様な分野にわたって「広報課題」についての議論をしていきたいと考えています。

一般的な危機管理において、自然災害は重要性が高いながらも優先課題は低くなりがちですが、現実に今回の震災では、被害の確認から復旧・支援計画の発表まで、組織内外への双方向コミュニケーションが重要な鍵となりました。産官学一体の研究を標榜する日本広報学会として、クライシスマネジメントにおけるトップのリーダーシップや全国へのメッセージ発信など、コーポレート・コミュニケーション研究の素材を学問的に分析することによって、今後の広報分野の研究発展に寄与できる大会になることを期待しています。

大会実行委員長 駒橋 恵子

日本広報学会第17回研究発表大会予稿集

統一論題: 東日本大震災における広報課題 ～“想定外”のクライシスマネジメント～

【大会プログラム】

(数字は「予稿集」ページ数; 敬称略)

【第1日】 10月22日(土) 会場: 東京経済大学 国分寺キャンパス 2号館 3階 B301

9:30～ 受付開始 (2号館1階)

- ☆ 10:00～10:10: 開会挨拶 日本広報学会会長代行 上野 征洋
- ☆ 10:10～10:45: 日本広報学会賞 発表・表彰式 理事長 濱田 逸郎
- ☆ 10:50～12:00: 基調講演 1
『東日本大震災における行政機関の情報発信の課題』
内閣・東日本大震災復興対策本部事務局 次長 岡本 全勝

☆ 12:00～13:00: 昼食休憩 *)お弁当を予約された方は、B302 に用意してございます。

☆ 13:00～15:00: 統一論題パネル・ディスカッション

1階 B101 <第一会場>

- 「企業のクライシス対応」 7
- パネリスト: 篠崎 良一(共同 PR (株))
田代 順((株)ミラ・ソル)
明石 雅史(明石広報事務所)
- 司 会: 駒橋 恵子(東京経済大学)

2階 B201 <第二会場>

- 「東日本大震災における地域コミュニケーション」 17
- パネリスト: 山田 英彦(北九州市)
横澤 靖(福島市)
藤野 正弘(きょうと NPO センター)
富田 晋司(静岡文化芸術大学)
- 司 会: 河井 孝仁(東海大学)

☆ 15:10～17:20: 統一論題パネル・ディスカッション

1階 B101 <第一会場>

- 「原発問題とコーポレート・コミュニケーションの課題」 23

- パネリスト: 奥山 俊宏(朝日新聞)
 瀧井 宏臣(ルポライター)
 大槻 茂(広報戦略研究所)
 関谷 直也(東洋大学)
- 司 会: 伊藤 直哉(北海道大学)

2階 B201 《第二会場》

「メディアから見た震災の広報課題」……………31

- パネリスト: 栗原 守(読売新聞東京本社)
 関川 修一(テレビ朝日)
 藤代 裕之(NTTレゾナント(株))
 大島 慎子(筑波学院大学)
- 司 会: 村上 信夫(放送作家/立教大学)

☆ 17:40～19:10:懇親会 《会場:6号館7階 大会議室》

【第2日】 10月23日(日) 会場:東京経済大学 国分寺キャンパス 2号館 3階 B301

☆ 10:00～11:00: 特別講演…………… 39

「大本営発表とツイッターのはざままで
 ～情報発信の倫理をめぐる～」
 TBSテレビ執行役員 兼「報道特集」キャスター 金平 茂紀

☆ 11:10～12:40:

統一論題報告 《第一会場》 2階 B206

1. 宮部 潤一郎 中小中堅企業の緊急時対応策の形成とコミュニケーション行動
 —北海道観光産業の調査から—…………… 45
2. 伊藤 直哉 東日本大震災における情報行動と生活者のリスク変化…………… 49
3. 東村 篤 社名に込められた創業者理念の研究…………… 53

自由論題報告 《第二会場》 2階 B202

1. 中田 健吾 「議会による広報」の一考察 ～議会と広報の親和性、その要諦～
 …………… 79
2. 本田 正美 判例に見る地方議会会派による広報活動の位置付け…………… 82
3. 川部 重臣 協働・協治を実現するための行政広報の新機軸。
 —行政広報の基礎的機能を担う町会広報の試行報告—…………… 87

自由論題報告 《第三会場》 2階 B203

8. 南堀 信男 メディアの変遷と広報活動(CC)の社会的相互作用 …………… 113
9. 菅原 正博 グローバル広報担当者育成プログラムのスマホ化(電子書籍化)戦略
に関する一考察:英語、日本語、中国語対応のカリキュラム開発 116
10. 雨宮 和弘 海外におけるビジネスコミュニケーションの潮流
—IABC交際会議報告— …………… 120

研究部会・研究会報告 《第四会場》 3階 B302

1. 鈴木 幹久 パブリック・リレーションズ理論研究部会 …………… 145
2. 川上 雄一郎 マーケティングPR研究部会 …………… 146
3. 石川慶子 レピュテーション研究部会
—概念、経営、ステークホルダー、メディア視点から検討— …… 147
4. 坪田 秀子 「大学広報」研究部会—活動状況と広報の課題— …………… 148
5. 加藤 恭子 「インターネットを介した広報・ロコミについて」研究部会
—変容する広報活動・炎上対策— …………… 149

☆ 12:40～13:30: 昼食休憩 *)お弁当を予約された方は、B201 に用意してございます。

☆ 13:30～15:30:

統一論題報告 《第一会場》 2階 B206

4. 甲田 安彦 —マスメディアに見る— 東京電力の初期広報の課題 …………… 59
5. 松枝 健夫 非常時に問われるものとは何か —震災時の社内広報から— … 63
6. 和田 仁 福島原発事故からの広報倫理とプロフェッショナリズム再興に
向けて —広報への社会的批判・疑念に応える試論— …………… 68
7. 藤代 裕之・河井 孝仁 東日本大震災におけるマスメディアとソーシャルメディア
連携 …………… 73

自由論題報告 《第二会場》 2階 B202

4. 桐井 範治・大島 昌子 メーカーに対する消費者意識変化と
コーポレートコミュニケーションの可能性(3) …………… 95
5. 北見 幸一 地域企業の不祥事と消費者の信頼回復要因に関する一考察
—サービス・マーケティングにおける苦情対応研究からの検討— …100
6. 野田光一 「甲南女子大学ブランド」の構築における
University Communication 戦略 …………… 104
7. 吉田 博・菅原 正博・市川 貢
大学のブランディングとコーポレート・ガバナンス機能 …………… 107

自由論題報告 《第三会場》 2階 B203

11. 井之上 喬 「自己修正マップ(SCM)」による変容の考察と事例検証
—「自己修正モデル:ケース・スタディによる自己修正の
段階的変容とその考察」その2— ……………127
12. 伊吹 勇亮 コーポレート・コミュニケーションの組織に関する理論的考察 ……132
13. 弦間 一雄 アテンションの変容による企業コミュニケーションのシームレス化・136
14. 清水 正道 DST手法を活用した企業コミュニケーションの可能性について・140

研究部会・研究会報告 《第四会場》 3階 B302

6. 大野 伸 「自治体議会広報の課題と展望」研究会
—名古屋市河村市長と議会の対立を事例に— ……………153
7. 川戸 和英 社内コミュニケーションにおける社内報の重要性—「社内報を中心と
した社内コミュニケーション」研究会報告— ……………154
8. 石井 智 「スポーツ施設におけるコミュニケーションと
ソーシャル・キャピタル形成」研究会 ……………155
9. 寺門 克 広報におけるコミュニケーションルール
—ディスコミュニケーションの極小化をめざして— ……………156
10. 石橋 陽 「コーポレート・コミュニケーション評価」研究会 ……………157
11. 石橋 陽 「中小企業のコーポレート・コミュニケーションに関する」研究会 …159

☆ 15:30～15:40:休憩

☆ 15:40～16:20:大会総括 《会場:3階 B301》

日本広報学会会長代行 上野 征洋

☆ 16:20～16:30:次期開催校挨拶 《会場:3階 B301》

*統一論題、自由論題報告は、20分報告+10分質疑応答

*研究部会・研究会報告は10分報告+5分質疑応答